

○東京デジタルアカデミーポータルサイト

- ・取組団体：東京都
- ・取組内容：デジタルに関する学びやDX推進のナレッジ等を発信
- ・推進体制：デジタルサービス局総務部 デジタル人材戦略課 担当2名
- ・事業予算：令和5年度 約20,000千円

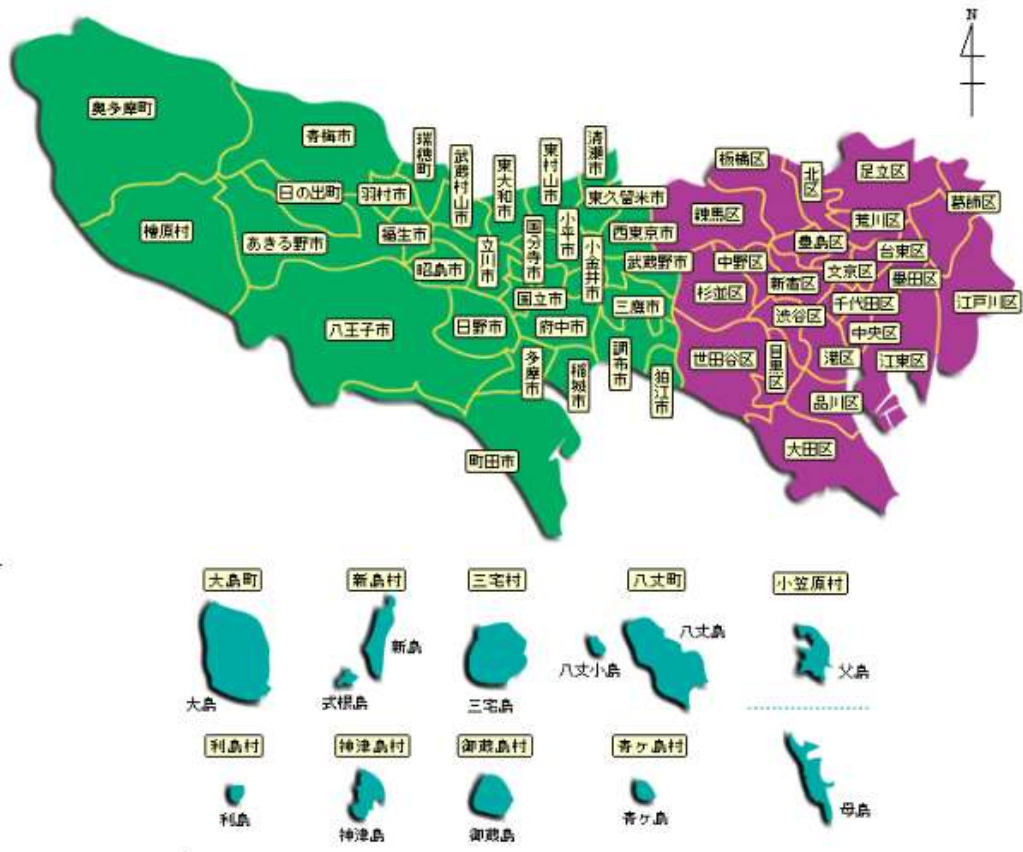
1. 東京都の概要

人口：14,105,098人（令和6年1月1日時点）

職員数（知事部局等及び公営企業）：32,756人（令和5年4月1日時点）

総面積：2,194.05km²

図表1 東京都内区市町村の位置図



出所：東京都公式ホームページ都内区市町村マップより抜粋

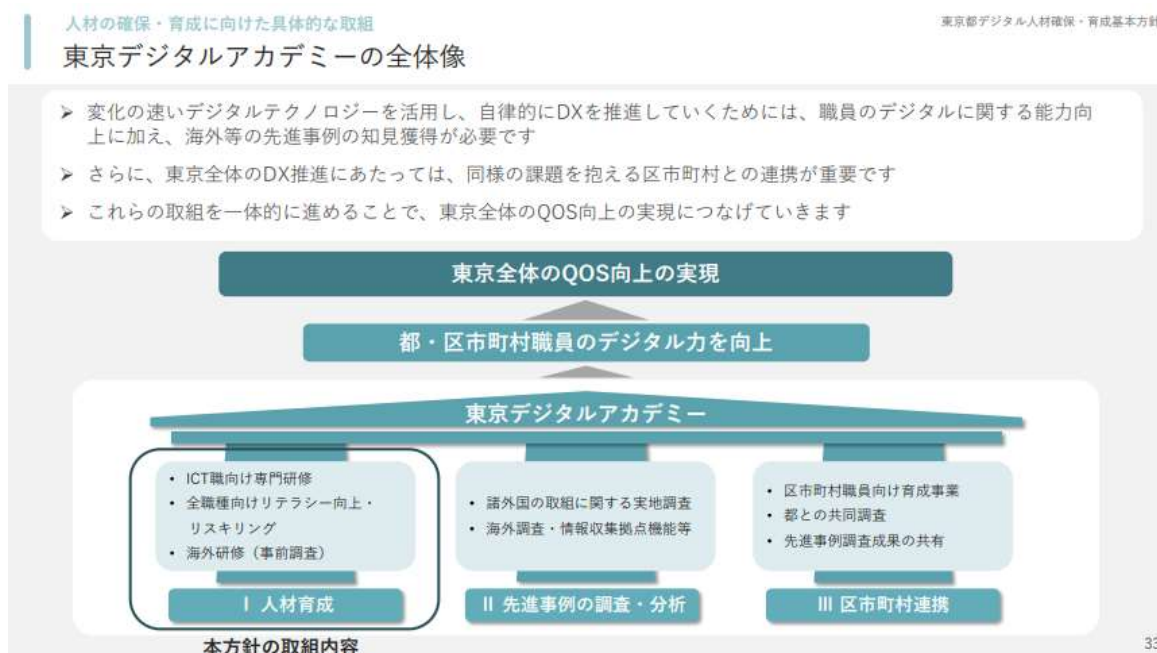
2. 取組の背景・目的・内容

(1) 取組の背景・目的

東京都では、都政のQOS（クオリティ・オブ・サービス）を向上させるため、都政の構造改革QOSアップグレード戦略「シン・トセイ」を策定し、構造改革を推し進めてきた。令和4年

2月には「東京都デジタル人材確保・育成基本方針」を作成し、方針策定の基本認識として、QOSの高いデジタルサービスの実現にあたり、カギになるのは「ひと」とし、人材育成に向けた具体的な取り組みとして、デジタル人材の育成策を示している。その中で「東京デジタルアカデミー」を開講し、ICT職向けの専門研修や全職種に向けたリテラシー向上・リスクリング研修等を行ってきた。令和5年11月には職員のデジタル力に関する能力向上を図る取り組み強化の一環として、デジタルに関する学びやDX推進のナレッジ等を発信するポータルサイトである「東京デジタルアカデミーポータルサイト」（以下、ポータルサイト）を公開した。

図表2 東京デジタルアカデミーの全体像



出所：「東京都デジタル人材確保・育成方針 ver.1.0」（令和4年2月策定）

（2） 取組の内容

ポータルサイトでは、デジタルに関する学びやDX推進のナレッジ、東京都が独自に進めてきた取組のノウハウ等を広く発信している。東京都及び都内の区市町村を含めた職員を対象とした取組ではあるものの、ポータルサイトにアクセスすれば、一般ユーザーでもコンテンツを利用することができる。コンテンツを選択した後は、掲載内容がそのまま読める場合やデジタルブックとなっている場合、外部リンク先でPDFやnoteを確認できる場合など、多様な方法で内容を知ることができる。

図表3 東京デジタルアカデミーポータルサイト コンテンツ確認方法

東京都 Tokyo Digital Academy 東京デジタルアカデミー

あなたのDXスキルアップデートはココから！まずは下の「開く」をクリックして、関心のあるタグを選択してみましょう！

「デジタルについて学べる動画・資料」や「組織のDX推進に役立つナレッジ」を探す 開く▼

新着

ChatGPTをより効果的に活用！「都職員のアイデアが詰まった文章生成AI活用事例集」

デジタルスキルマップによる戦略的人材育成

見直すことを躊躇しない！「東京都アジャイル型開発に係るプレイブック」

人気

デジタルスキルマップによる戦略的人材育成

見直すことを躊躇しない！「東京都アジャイル型開発に係るプレイブック」

デジタルブックを確認

そのまま内容確認

PDFファイルを確認

出所：東京デジタルアカデミーポータルサイトの情報を基に作成

掲載しているコンテンツについては、ポータルサイト開設の際、都庁内外の関係部署や都内区市町村等に対して調査した上で、デジタル人材課から積極的に掲載を依頼した上で掲載していた。ポータルサイト開設後は、徐々にコンテンツの掲載希望の相談を受けることが増えている。

令和6年3月には東京都や区市町村等の職員が学びに活用できるラーニングコミュニティ機能が実装された。コミュニティ機能の利用は、関係者向けの機能となっており、ID・パスワードを付与された関係者のみがアクセスできる環境となっている。関係者への通知等のほ

か、都職員・区市町村職員等を対象としたセミナーなどの機会を活用し、周知を行っている。

3. 成果や課題、今後の方針など

令和5年11月の公開後、ポータルサイトへのアクセス数やユーザー数は順調に伸びている。一方で、実際に活用され続けるサイトとするためには、デジタル人材戦略課としては、ユーザーが求めるコンテンツを常に分析し、継続的に発信していく必要があると考えている。

また、令和6年1月には、「シン・トセイ4」が策定され、その中でも人材育成の更なる強化を掲げており、ポータルサイトについても今後はコミュニティ機能を活用し、デジタルに関する学びやDX推進のナレッジ等の掲載コンテンツの拡充を予定している。

図表4 シン・トセイ4にて職員のデジタル力の更なる向上について掲げる事項

4 職員のデジタル力の更なる向上

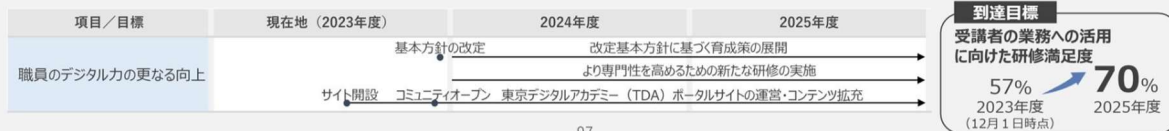
質の高いデジタルサービスの実現に向けて、人材育成を更に強化していきます

- 職員のデジタルに関する能力向上を図る東京デジタルアカデミーの取組を更にバージョンアップ
- 2024年度から順次各課等に導入するDXアンバサダーが、デジタルツールの活用方法などの研修を受講するとともに、好事例の横展開を図るなど、各職場の業務改善を一層推進
- 「デジタル人材確保・育成基本方針」を、GovTech東京の設立等を踏まえてアップデート



東京デジタルアカデミーのコンテンツを更に充実

- 専門的な知識とデジタルツールの実践的な活用方法を学ぶ新たな研修を実施
(例) データサイエンスの知識とデータ分析・可視化に関するツールの活用方法
- ICT職を対象に、UI/UXデザイナー、データサイエンティストなどの「ジョブタイプ」に着目した新たな研修を実施し、より実務に即した実践的なスキルの習得を図る
- 東京デジタルアカデミー（TDA）ポータルサイトにおいて、都、区市町村、政策連携団体の職員が交流できるコミュニティも通じて、利用者の声も聞きながら、デジタルに関する学びやDX推進のナレッジ等の掲載コンテンツを拡充



97

出所：シン・トセイ4（4 職員のデジタル力の更なる向上）

【参考】

- 東京都公式ホームページ
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/>
- 都政の構造改革ポータルサイト（#シントセイ）
<https://shintosei.metro.tokyo.lg.jp/>
- 東京都デジタル人材確保・育成基本方針
<https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/business/digital-hr/digital-hr04>
- 東京デジタルアカデミーポータルページ
<https://digi-acad.metro.tokyo.lg.jp/>

- ・シン・トセイ4（職員のデジタル力の更なる向上）

<https://www.spt.metro.tokyo.lg.jp/seisakukikaku/shintosei4/#page=98>